

<対策のポイント>

農畜産物の生産コスト、耕地面積、調査結果の妥当性確認に関連する情報等を効率的に把握する手法を確立するための調査研究を実施します。

<事業目標>

食料・農業・農村政策の企画・立案・検証等に不可欠なデータの継続的・安定的な提供

<事業の内容>

1. 農畜産物生産費統計の精度向上・効率化手法の検証

- ① 外れ値等に対応したウエイト調整手法の開発
- ② AI等を活用した集計業務等の効率化手法の開発
- ③ ナッジ手法を活用した調査票・記入例の作成・検討、定量的効果の検証・評価等の調査研究及び実証を実施します。

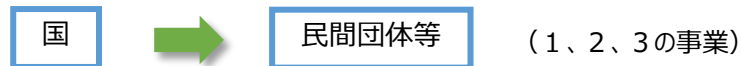
2. 効率的な耕地面積調査の確立に向けた調査研究

現地での確認を要する現行の耕地面積調査に代わる効率的な手法を確立するため、人工衛星画像データを活用して農地区画データ情報（筆ポリゴン）を更新し、それを基に耕地面積（統計値）を作成するための新たな調査手法の調査研究を実施します。

3. 統計の品質維持に不可欠な分析的審査の効率化に向けた手法の確立

農林水産統計の調査結果の妥当性等の確認に必要な関連情報の収集を生成AIにより効率化する手法を開発するため、必要な環境の検討及び実証を実施します。

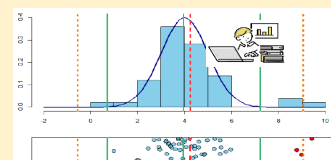
<事業の流れ>



<事業イメージ>

外れ値等の補正手法の開発

生産条件、市況、経営状況等により出現した回答の外れ値等を補正するため、回帰モデル補完、欠測値補完、集計ウエイト調整等の手法を開発



外れ値や偏って分布したデータ

AIによる調査項目の自動分類

区分	取得価額	耐用年数	現在価
建物			
倉庫	1000	30年	200
倉庫	700	20年	
機械具			
トラクター	1500	8年	1300
田植え機	200		50
コンバイン	300		70
乾燥機	400		200

固定資産台帳

自然言語処理により、農業機械等の固定資産に関する税務申告情報を種類別に自動分類して調査項目に仕訳

ナッジ手法を活用した調査票等

ナッジ手法を活用した、理解しやすく分かりやすい調査票等の検討



調査票

効率的な耕地面積調査の確立

衛星画像からAI等を活用して筆ポリゴンを効率的に更新し、それを基に統計値を作成



全国の筆ポリゴン
(約3000万筆)

かい廃等があった
農地の特定

分析的審査の効率化手法の確立



生成AIを活用して、Web上のオープンな情報や省で保有する内部情報から分析的審査に必要な関連情報を効率的に収集

【お問い合わせ先】

- | | |
|------------------------|----------------|
| (1の事業) 大臣官房統計部経営・構造統計課 | (03-3502-5654) |
| (2の事業) 生産流通消費統計課 | (03-3501-4502) |
| (3の事業) 管理課統計品質向上室 | (03-6738-6157) |